

認知症の進行と心の変化

発症期 (初発期)

これまで当たり前できていたことがうまくできず、漠然とした不安や焦りを感じる。

主な症状

- ・ものをなくす
- ・さっきまでしていたことを急に忘れる
- ・イライラしやすい

初期

記憶障害の度合いがひどくなり、不安はピークに。周囲の人へ怒りをぶつけるようになる。

主な症状

- ・思い出せないが増える
- ・年月日が不確かになる
- ・金銭管理が苦手になる
- ・感情がコントロールできない
- ・意欲がわいてこない

中期

日常生活の失敗や困難が増え、その状況に絶望する。妄想・徘徊などが増える。

主な症状

- ・食事、入浴、排せつ、着替えなどで失敗が増える
- ・妄想・徘徊などの行動障害が増える

末期

不安や怒りの感情は弱くなり、言動も落ち着いてくる。「快」「不快」の感覚には敏感。

主な症状

- ・生活の基本動作が自分ではできない
- ・言葉でのコミュニケーションが難しくなる
- ・一日中ぼんやりしている

不安度

不安

不安のピークは発症期から初期

認知症の人が見せる激しい感情の起伏は、強い「不安」から生じています。本人の不安のレベルは、認知症がもっと進んだときではなく、発症期から初期にかけてピークを迎え、中期から末期になると徐々に落ち着いてきます。

認知症の進行



医療法人社団つくば健仁会

とよさと病院